

「Ogasawara Research (小笠原研究)」投稿要領

掲載論文

主として小笠原に直接または間接に関係をもったオリジナルな学術論文、調査報告、総説など。フロラリストや気象情報など基盤的なデータを含む長い報文を優先するが編集委員会の判断で短い報文も掲載する場合がある。

論文の体裁と執筆要領

英文、和文とも、そのままオフセット印刷できるように図表を張りこんだ原稿（A4、横書き）を作成する。原稿の表にはページ番号をふらず、裏に鉛筆書きでページ番号を記入する。

英語と日本語のキーワードをそれぞれ5つ以内で列挙する（英語キーワードのアルファベット順）。キーワードには、原稿タイトルに含まれる語句は含めない。英文報文には和文要旨を、和文報文には英文要旨をReferencesまたは引用文献の次のページにつける。章節のたて方は基本的に執筆者に任せるが脚注はできるだけ用いない。

文献引用の仕方、文献リストの書き方は英文報文の場合、日本生態学会の英文誌である**Ecological Research**を、和文報文の場合、日本生態学会の和文誌である日本生態学会誌の規定を標準として参考とされたい。詳しい情報は日本生態学会のURL (<http://www.esj.ne.jp/esj/>) を参照すること。

投稿と編集

原稿〆切は原則として毎年1月20日。電子ファイルとプリントアウト1部を編集委員会あてに送付する。原稿の掲載可否は編集委員会で決定する。電子ファイルの場合、本文はMicrosoft Word、表はMicrosoft Excel、図・写真はEPS、TIFF、JPEGなど形式とするか、これらのファイルを1つのPDFファイルにまとめたものとする。編集は、論文の内容によっては編集委員長が委任する臨時の編集委員によって行われる場合がある。なお、出版費が限られているので、投稿予定がある場合はあらかじめ12月中に編集委員に相談すること。投稿は首都大学東京関係者以外からも受け付ける。他の著作からの図表を引用する場合は、著者の責任で出版社など著作権者の了解を取ること。

校正

原稿はそのままオフセット印刷されるため校正は不可能であるので、投稿時に十分注意すること。